*電動アシスト 自転車*

***ELECTRIC BICYCLE WITH SERVO-ASSISTED PEDALLING***

**安全に関する推奨事項**
**定期点検票**
**納品書類**

JPN

Made in Italy

FANTIC

FANTIC-BIKES.IT

# インデックス
# INDEX

日本語 ⟶

*Sections02-03* ⟶

# 総合インデックス



## セクション00 - はじめに


1. イントロダクション.....EN_ii

2. EPACの意味-電動アシスト式自転車
.....EN_0-1

3. 記号表記.....EN_0-2

4. 保護者の方への注意事項
.....EN_0-2

5. WEEE宣言.....EN_0-2


## セクション01 - 警告と安全装置


1. 安全情報.....EN_1-1
- 1.a -正しい使用.....EN_1-1
- 1.b -不適切な使用.....EN_1-2
- 1.c -一般的な提案.....EN_1-2
- 1.d -法規制.....EN_1-4
- 1.e -残留する危険性.....EN_1-5
- 1.f -自転車の運搬方法.....EN_1-7
- 1.g -初めての使用.....EN_1-8
- 1.h -自転車を使う前に.....EN_1-8

2. バッテリーパックのお手入れ
.....EN_1-10

3. どの操作ができるか.....EN_1-10

4. 改造のための付属品や部品を取り付ける際の注意事項.....EN_1-10

5. 誰のために設計された自転車なのか
.....EN_1-11

6. 転倒した場合どうするか.....EN_1-11

7. 梱包の取り外し.....EN_1-12

8. 任意付属品.....EN_1-12

9. 保証条件.....EN_1-13
- a. -保証依頼の前提条件
.....EN_1-13
- b. -保証条件の例外
.....EN_1-14


## セクション02 - 定期検査


定期検査票.....2-1


## セクション03 - 納品書類


1. ベンダー詳細.....3-4

2. 顧客情報.....3-5


当社は、本製品の改良に有用であると判断した場合には、事前の通知なしに、自転車モデルの美的、機能的、商業的な変更を行うことができる独占的な権利を有します。

# 1. イントロダクション

お客様へ

この度は弊社製品をご購入いただきありがとうございます。

当社の電動自転車は、革新性、デザイン性、快適性を兼ね備え、イタリアでのみ設計・製造されています。

アシストペダルの革新的なコンセプトは、サイクリングの習慣に革命をもたらし、新たな地平を切り開くことでしょう。

この自転車は、適用されるすべての基準と規制に準拠した最高品質の素材を使用して製造されています。

新しい自転車をご使用になる前に、この小冊子および使用・整備マニュアル（以下、「取扱説明書」ともいう）をお読みになり、よくお読みになった上でご使用ください。

**今後のご相談のためにも、ユーザーマニュアルと合わせて大切に保管してください。**

## 2. EPACの意味 - 電動アシスト式自転車

EPACはElectrically Power Assisted Cycle.（電動アシスト式自転車）の頭文字を集めた略称です。

当社のEPAC電動自転車は、Machinery Directive 2006/42/EC requirementsおよびEN15194:2017調和規格（2019/03/19付欧州連合官報）を満たしています。

EPACの主な特徴は以下の通りです。
・アシスト（補助）用の電動式モーターは、定格電力0.25kwを最大とする。
・ペダル駆動を行っていない間は、アシスト駆動（推進力）は切断される。
・補助力は車速の上昇とともに低減され、最終的には時速25km/hに到達した時点で切断される。

欧州規制に従っている限り、本商品は伝統的な（電動アシスト機能を持たない）自転車としてお使いいただくことが可能です。その場合、自転車に準じた法規制に従うことが必要であり、すなわち自転車専用道/レーンの使用が認められ、ヘルメットの着用義務はありません。賠償責任保険の付帯義務やライセンスプレートの取得義務もありません。

EPAC自転車に対するいかなる改造行為も、違法行為となり罰金や制裁金の対象となる可能性があります。

公道をEPAC自転車で使用する場合、公道走行規則に準じた装備（前後灯、警報機等）を、有資格の技術者によって自転車に取り付ける必要があります。

いくつかの国では、それぞれの国の規制に適合させる必要があります。 そうした個別の規制については、お客さまが個別に責任を以って確認する必要があります。

**日本国内でのご使用について**

**当製品は、日本工業規格 JIS D 9115 電動アシスト自転車規定に則り、比例補助速度が0～10km/hの場合、補助比率は1:2以下、逓減補助速度が10km/h～24km/hの場合、逓減比率を1:2以下としております。**

## 3. 記号表記

本取扱説明書には、特に重要な情報や指示に注意を喚起するために、一連の記号が記載されています。 これらの記号の意味を以下に説明します。

**Hazard(危険):**

**このマークは、落下の危険性があり、それに伴う怪我や損傷の危険性(自分自身と第三者の両方)を示しています。**

**Attention(注意):**

**このマークは、不適切な行為をすると、設備や環境に損害を与える可能性があることを示しています。**

*N.B. (注意):*

このシンボル(マーク)はお使いになる自転車が最高のコンディションでいられるような重要な情報を示すときに用いられます。

*推奨締付トルクについて:*

*このマークは、自転車を使用する際の安全性を保証するために、正しい締め付けトルクをかけることが重要であることを示しています。このためには、トルクレンチを使用する必要があります。そのような工具をお持ちでない場合は、資格を持った技術者に依頼することをお勧めします。締め付けトルクが強すぎると、部品が折れたり、外れたりして転倒の危険があります。正しいトルク値のリストについては、本マニュアルの最後のページをご覧ください。*

## 4. 保護者の方への注意事項

保護者は、子供たちの行動と安全性、自転車の安全性、および自転車のサイズに合わせた適合性について責任を負います。

この自転車はお子様の使用には適していませんが、お子様が使用できると判断した場合は、お子様がEPAC自転車の安全な使用方法を十分に理解していることを確認する必要があります。

これを確認して、自転車を使うことを想定した環境で使ってもらうのが一番です。

## 5. WEEE宣言

**指令2012/19/EU**

製品および関連文書に表示されているWEEEマークは、製品の耐用年数が終了した時点で、通常の家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。廃棄物の不適切な処分に起因する健康や環境への影響を避けるために、本製品を他の種類の廃棄物から分離し、リサイクル可能な材料の持続可能な再利用を支持するために、責任を持ってリサイクルするように求められています。

個人ユーザーは、この種の製品のリサイクルに必要なすべての情報について、製品を購入した業者または関連する地方自治体に連絡してください。 商用利用者の方は、納入業者に連絡し、売買契約書に記載されている条件を確認してください。

本製品は、他の商業廃棄物と一緒に廃棄してはいけません。

## 1.安全情報

- この小冊子には、EPAC自転車を安全に使用するための推奨事項がすべて記載されています。
- 警告を理解し、それを尊重することで、使用者、第三者、従業員、所有物への傷害や損害のリスクを防ぎ、安全に自転車を使用することができます。
- EPAC 自転車の所有権を他の人に譲渡する場合は、この取扱説明書を添付する必要があります。
- 文書（この小冊子、ユーザーマニュアル、EC 適合宣言書、保証書など）は、自転車の不可欠なものであり、使用期間中は必ず保管しなければなりません。
- 自転車を売却したり、他の人に譲渡する場合は、新しい所有者に書類を渡さなければなりません。
- この文書を紛失した場合や破損した場合は、ベンダーから新しいコピーを入手してください。
- 自転車の引渡しを受ける際には、業者が引渡し証明書（※）の全項目を記入していることを確認してください。

証明書に記載されているすべての書類のコピーを受け取っていることを確認してください。

書類が忘れられていたり、漏れていたりする場合は、業者に連絡してください。

すべての書類を受け取り、慎重に読むまでは、自転車を使用しないでください。

- **当社は、技術上または会社上の理由により、この文書を予告なしに変更することがあります。**

### 1.a -正しい使い方

- 本説明書の対象となる自転車は、取扱説明書の「1.a」項の表「A」に従って、オフロードおよび／またはオンロードでの使用に適しています。
- **本来の用途以外で使用すると、危険な走行状態や転倒、事故につながる恐れがあります。**

**また、不適切な使い方をすると、バッテリーパック内でショートして火災につながる可能性があります。**

* (section "03" of this booklet)

- **自転車は、必ず取扱説明書に記載されている通りに使用してください。**

## 1b-不適切な使用

- すでに説明したように、公道で使用する場合は、使用する国の規制で必要とされるすべての付属品が装着されていることを確認する必要があります。

- バイクのジオメトリを変更する改造（オフセットの変更、エクスカーションの変更、シートポストの長さの変更など）。

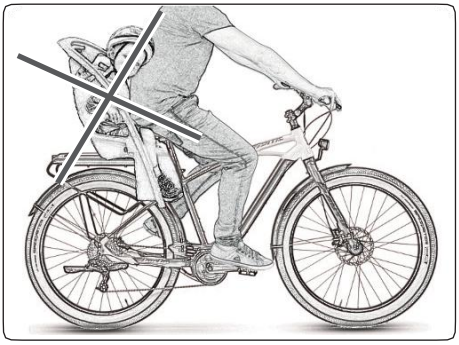
- 自転車に標準外のアクセサリーやコンポーネントを使用すると、自転車が損傷し、安全な運転ができなくなる可能性があります。その結果、危険な走行状態、転倒、事故につながる可能性があります。

- 自分で自転車を改造したり、追加のアクセサリーを取り付けようとしないでください。

- 作業を正しく行わないと、自転車が損傷し、安全な運転ができなくなる可能性があります。これにより、危険な走行状態、転倒、事故につながる可能性があります。

- ユーザーは、ユーザーマニュアルに記載されている操作のみを実行してください。

**バッテリーパックサポートまたはラグゲージキャリア（該当する場合）は、人やチャイルドシートの運搬には使用できません。**



**子供を乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用してください。チャイルドシートは、専用のラックにのみ取り付けてください。販売店にお問い合わせください。チャイルドシートに付属の説明書に記載されているように、お子様を固定してください。**

## 1c-一般的な提案

- 自転車は安全に乗ることができ、高速でのブレーキ操作を行うことができる人のみ利用してください。

- 法律で義務付けられていなくても、自転車を使用する際にはヘルメットを着用しましょう。

- 十分に気をつけて乗ってください。

- ペダルを踏むときは、必ず、前もってブレーキをかける準備ができているかどうかを確認してください。
- 飲酒したあとは乗らないでください。
- 常に自転車を完全にコントロールし、予期せぬ危険な状況に陥らないようにしてください。
- 濡れた状態では、制動効率が低下し、制動距離に影響を及ぼします。
- 自転車に乗るときは、動きを制限したり、視界を妨げたりしないような適切な服装をしてください。
- 必ず体型に合わせたズボンを着用してください。 かさばるものやゆるいものは、自転車の移動部分に絡まって転倒の原因になることがあります。
- 夜間や視界の悪い場所で走行する場合は、反射バンドのついた服を着て、ライトのスイッチを入れてください(装着されている場合)。
- 特定のタイプの衣類を着用したり、リュックサックでの移動が制限される場合があります。
- ハイヒールを履いたまま自転車に乗ろうとしないことを強くお勧めします。

落下の危険性と予期せぬ発進による事故の危険性。

- 足をペダルに乗せると、車輪のわずかな動きにも反応してモーターが動き出します。つまり、この状態では、自転車が不意に動き出すことがあります。
- 走り出すまでペダルに足を乗せるのはやめましょう。
- 両方のブレーキを操作し、動き出したいときだけブレーキを解除します。

落下の危険性と予期せぬ動きによるアクシデントの危険性。

- 慎重に循環させ、常に推奨されるメンテナンスの間隔を守り、不具合が発生した場合にはベンダーに速やかに連絡してください。
- ライダーの安全性は、他の要因に加えて、走行速度や状況にも左右されます。高速でのサイクリングは、走行条件に悪影響を与え、転倒や事故のリスクを高めます。
- 損傷した路面、障害物、段差、縁石などに留意することが重要です。そのような要素が存在する場所では、注意してゆっくりと進んでください。
- ホイールユニットは、走行中に手などの体の一部を負傷する恐れがあります。

走行中は、手やその他の身体の一部をホイールユニットに近づけないでください。

走行中に他の人（子供や大人）がホイール・ユニットに手や体の一部を接触させないようにしてください。

自転車を長時間使用した場合、特に頻繁にブレーキをかけた場合、ブレーキディスクが高温になり、次のような問題が発生することがあります。

皮膚が露出している場合は、火傷の恐れがあります。

自転車に乗った後は、ブレーキディスクに触れる前に、5 分間冷却してください。

水やその他の液体を使って冷却しようとしないでください。

負荷が増えると、走行中の自転車の操作性に悪影響を及ぼし、ブレーキの距離が長くなります。

自転車に過大な負荷をかけると、自転車の構成部品の一部が故障したり、破損したりすることがあります。これは、危険な走行状態や転倒、へこみの原因となることがあります。

最大許容荷重（120 kg）を超えないようにしてください。

## 1.d -法規制

- 本マニュアルに記載されている自転車の使用方法に関する情報および指示は、現地で適用される一般的および/または特定の基準、規制、規定または法律を補足することを意図していますが、これに代わるものではありません。
- すべての道路利用者は、それぞれの国で適用される交通規制を遵守する必要があります。例えば、イタリアとドイツでは、公道でEPAC自転車を使用するために許可を取得したり、運転免許証を持っている必要はありません。EPACを公道や道路で使用できるのは、あなたの国の法律で必要とされている追加装備を装着した場合のみです（自転車に装着されていない場合）。イタリアとドイツでは、これらの要件は、車両の通行資格に関する規制によってカバーされています

ご注意： お使いの自転車（※）が規定の装備をすべて備えていないため、公道での使用に適さない場合は、法律に基づいて装備してください。これらの付属品を装着するには、販売店にご相談ください。

* (1.a項の使用・保守マニュアル表「A」参照)

-イタリアでは、電動アシスト自転車の使用に関する規制は年齢制限の対象ではありませんが、ユーザーが自転車に乗ることができること、すなわち自転車の基本的な原理を理解し、EPACに乗って操縦するために必要なバランス感覚を持っていることを確認することが重要です。

....自転車に乗ることができること、すなわち、自転車の基本的な原理を理解し、EPACに乗って操縦するのに必要なバランス感覚を持っていること。

....特にエルゴノミックサドルの場合、座っているときに足で地面に触れることができない場合は、静止した自転車に安全に乗り降りすることができる。

....自転車の仕様に身体的に適しており、許容される体重制限を超えていないこと。

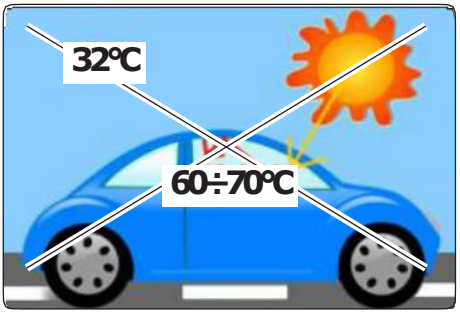
- 自転車を使って高速で長時間走行することができます。利用者は、2時間近くも安全に自転車をコントロールできるだけの体力があることを確認しなければなりません。
- 自転車は、体調不良や体調不良を補うために設計されたものではありません。

## 1.e -残留する危険性

-火災の危険性

不適切な使用、過熱した環境での保管（強い日光にさらされた自動車内など）、落下による強い衝撃、バッテリーパック内でのショートによる発火の可能性があります。

**自動車のキャビンは、強い太陽光にさらされると過熱することがあります。高温になると、バッテリーパックの中でショートして火事になる恐れがあります。**




**また、自動車の中で自転車を運搬する際には、自転車のタイヤの空気を抜くことが非常に重要です。**

**日陰に駐車し、周囲の温度が50°C以下であることを確認してください。**

- 自転車は、使用目的に応じて使用してください（取扱説明書の「1.a」項参照）。
- 自転車は、必ず周囲温度が-10°C～50°Cの部屋でのみ保管してください。
- 自転車をヒーター、ラジエーター、ストーブなどの熱源から遠ざけてください。
- バッテリーパックから煙や炎が出た場合は、直ちに自転車を停止し、消火器がある場合は消火器を使用して消火してください。 周囲に延焼の恐れがある場合は、直ちに消防署に連絡してください。

- 電気的危険性

不適切、破損、欠陥のある充電器や電気ケーブルを使用すると、感電の可能性があります。

- 付属の充電器のみを使用してください。
- バッテリーパックや充電器を分解しないでください。
- 自転車や充電器は、子供や動物の手の届かないところに保管してください。
- バッテリー充電器が水やその他の液体と接触させないでください。
- バッテリーパックと充電器を太陽の下や熱源（ストーブ、ヒーターなど）の近くに放置しないでください。
- 充電器やバッテリーが破損している場合は、絶対に使用しないでください。
- ケーブルの絶縁体やプラグコネクタが破損している場合は、絶対に充電器を使用しないでください。この場合、プラグは絶縁された部分だけを掴んでください。

**一般的な危険性**

- 自転車の可動部（車輪、チェーン、ギア）に手、足、その他の体の一部を近づけないようにしてください。怪我の危険があります。
- チャイルドシートで子どもを運ぶときは、走行中に車輪に接触しないように注意しましょう。
- 雨や雪、滑りやすい路面の場合は、スピードを落として対向車との距離をとりましょう。
- 水たまりの中を走行しないでください。モーターハブの中に侵入した場合、ショートや修理不可能な損傷の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる車内に自転車を放置しないでください。

ブレーキディスクは、長い下り坂では非常に高温になることがあります。- 下降後すぐにブレーキ・ディスクに触れないでください。- 少なくとも5分間冷ましてから触ってください。- 温度を確認するには、指で瞬間的に触ってみてください。まだ非常に熱い場合は、数分待ってから、ディスクが冷えるまでチェックを繰り返してください。

## 1.f -自転車の運搬方法

- 自転車を運搬する場合（車内など）、前輪や後輪を取り外す必要がある場合があります。

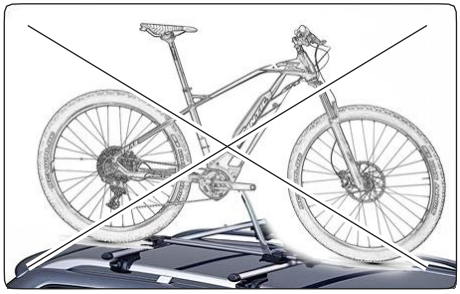
これらの操作については、取扱説明書を参照してください。

車などで自転車を運搬する際には、タイヤの脱脂は絶対に欠かせません!

自転車を自動車で運搬する前に、タイヤの空気圧を完全に下げてください。
自転車を運搬する際には、他の物を自転車の上に置かないでください。

この自転車は、自動車のトランスポート・システム（ルーフラック、リアラック、内部ラゲッジラック、または同様のシステム）には取り付けられません。

自転車用ラックを使用しないでください。このような部品の故障は、危険な走行状態、転倒、事故の原因となることがあります。



## 1.g -初めての使用

**自転車を使用する前に、この小冊子と取扱説明書をよくお読みください**

**自転車は組み立て済みの状態で販売店に届けられます。重要な安全部品の中には、完全に取り付けられていないものもあります。自転車を安全に使用するためには、販売店が組み立てを完了させる必要があります。深刻な落下や事故の危険があります。**

自転車を引き渡す前に、販売店が検査・点検票(※)の全箇所を記入していることを確認してください。

- 自転車は自分に合った着座姿勢でのみ使用してください。
- 自転車に取り付けられている技術的な装置については、販売店に問い合わせてください。
- シートの位置と高さを調整します(取扱説明書を参照)。

* (本冊子の「03」の項)

- バッテリーパックを完全に充電してください(取扱説明書を参照)。

## 1.h -自転車を使う前に

**安全でない自転車は、危険な走行状態、転倒、事故を引き起こす可能性があります。**

自転車を使う前に:

- 自転車が正しく安全に機能しているかどうかを確認してください。
- 自転車の構成部品(特にフレームとフォーク)を点検し、不具合に気付いた場合は、直ちに販売店に連絡してください。

**写真を何枚か撮っておくと、後になって不具合に気付きやすくなるかもしれません。**

**以下の部分を確認してください:**

- スポーク
- ホイールリムを点検し、摩耗や損傷のがないか点検し、同心円状になっていることを確認します。
- タイヤに損傷があるかどうかと、車体に損傷がないかどうかを確認してください。
- 前輪のクイックリリース装置に、摩耗や破損がないか確認してください。
- ギアホイールとサスペンション構成部品を点検し、摩耗や 損傷がないか点検し、正常に機能している ことを確認します。
- 油圧ブレーキを点検し、摩耗や破損がないか点検し、正常に機能していることを確認します(漏れがないかどうかのチェック)。
- ライト、フェンダー、その他付属品(装着されている場合)。
- ハンドルとサドルがしっかりと取り付けられていること。
- ホイールハブ締結ナットを締め、完全に締め付けていることを確認します。
- タイヤの空気圧を測定します。
- 前後のブレーキの効き具合。
- ホイールの状態を調べます。 ホイールに遊びがなく、軋みやきしみがないようにしなければなりません。

- **法律で義務付けられているわけではありませんが、自転車を使用する際には、安全性が認められたヘルメットを常に着用することをお勧めします。**
- 自転車の点検中に不具合を発見した場合は、速やかに販売店に連絡してください。本マニュアルに記載されている修理手順に従えば、外部の援助を受けずに軽微な欠陥を修正することが可能です。
- 修理を行っても症状が直らない場合や、本書に記載されていない場合は、外部の協力なしには修理ができないことを意味しますので、直ちに販売店に連絡してください。
- 自転車の安全性が確認できるまでは使用しないでください。

**指や腕の怪我の危険性、事故の危険性があります。点検作業中に自転車が不意に始動することがあります。**

**点検を行う前に、バッテリー・パックをハウジングから出して、自転車の電動モーターが停止していることを確認してください。取り付けネジが正しく締め付けられているか、目視で確認してください。**>>>>

**自転車のすべての部品に破損、深い亀裂、その他の機械的な損傷がないか、目視で点検してください。**
**不具合を発見した場合は、販売店に連絡してください。**

## 2. バッテリーパックのお手入れ

**リチウム電池を不適切に使用すると、火災、爆発、化学物質の危険が生じる可能性があります**

- 自転車に付属のバッテリー充電器は、リチウムイオンバッテリーの充電にのみ使用してください。鉛バッテリ、NiCd-NiMh またはNiMh電池の充電には使用しないでください。
- バッテリーパックが熱いときに充電しないでください。バッテリーパックが常温になっていることを確認してから充電してください。
- 充電中はバッテリーがわずかに発熱しますが、バッテリーパックが過熱した場合は、すぐに充電を停止してください。
- バッテリーパックを水やその他の液体と接触させないでください。もし接触した場合は、使用せず、販売店に確認してもらいましょう。
- 直射日光の当たる場所に自転車を放置しないでください。バッテリーパックが過熱して安全装置が作動する可能性があります。

## 3. どの操作ができるか

**作業が正しく行われないと、自転車が損傷し、安全な運転ができなくなることがあります。これは、危険な走行状態、転倒、事故につながる可能性があります。**

- ユーザーは、この小冊子に記載されている操作を、適切な工具を持っている場合にのみ実行しなければなりません。
- 自転車の個々の部品の仕様を変更してはならない。
- 自転車を使用するための準備を含むその他のすべての作業は、ディーラーまたは専門の技術者のみが行うことができます。

## 4. 改造のための付属品や部品を取り付ける際の注意事項

**自転車に標準外のアクセサリーやコンポーネントを使用すると、自転車に損傷を与えたり、操作の安全性が損なわれる恐れがあります。これにより、危険な走行状態、転倒、事故につながる可能性があります。**

- 自転車にアクセサリーや機器を取り付けようとしたり、勝手に改造したりしないでください。
改造を行う場合は、アクセサリーや部品を選ぶ際には、必ず専門の業者に相談してください。付属品の追加重量を計算する際には、自転車の最大重量を考慮することが重要です。

## 5.誰のために設計された自転車なのか

ライダーは

15歳以上であること。

.....自転車に乗ることができること、すなわち、自転車の基本原理を理解し、自転車に乗ってコントロールするために必要なバランス感覚を持っていること。

.....静止した自転車に安全に乗ったり降りたりすることができること。これは、人間工学に基づいたサドルを使用している場合には特に重要である。

.....自転車に適した物理的なサイズを持ち、最大許容荷重を超えてはならない。

..... 特に公道や道路を走行する場合には、道路交通を走行することができる身体的・精神的能力が必要です。

... ...長時間の高速走行を想定して設計されているため、2時間近く安全に自転車をコントロールできるだけの体力があること。

**自転車は体調不良や体力不足を補うためのものではありません。**

## 6.転倒した場合どうするか

- 転倒や事故があった場合は、すぐに販売店に連絡して、自転車を再利用する前に十分な点検を行ってください。
- 販売店で点検・修理を受けるまでは、自転車を使用しないでください。
- 転倒後、地面に激しく衝撃を受けた自転車の部品（例：ハンドルバー、ハンドルジョイント、ペダル、クランクなど）はすべて点検し、必要に応じて交換してください。

**損傷した場合、部品を交換しないと危険な走行状態、転倒、事故、物的損害の原因となる可能性があります。**

> > > >

落下によりバッテリーパックがショートし、火災の原因となることがあります。

- 転倒や事故の後は、引火性のあるものから安全な距離を保ちながら1時間ほど屋外に放置してください
- バッテリーパックを指で軽く触ってみてください。異常な熱の発生を感じたら、自転車をそのままにしておいてください。
- いかなる場合でも継続して使用しないでください。バッテリーパックが冷めたら、すぐに自転車を販売店に持って行き、必要なチェックを受けてください。

バッテリーパックから炎や煙が出たりした場合は、直ちにバイクを停止させてください。

適切な消火剤を使用してください。ドライケミカル、炭酸ガス、多量の水が効果的です。上記のものがない場合は、火が消えて自転車のすべての部分が冷めるまで待ちましょう。

そして、すぐに専門のディーラーに自転車を持って行きましょう。

周囲に延焼の恐れがある場合は、消防署に連絡してください。

- 点検を受け、必要に応じて修理するまでは、再び自転車に乗ろうとしないでください。

## 7. 梱包の取り外し

出荷前に、自転車は完璧な状態でお手元に届くように、バブルラップで保護され、梱包されています。 梱包を慎重に外し、現地で適用される規則に従って廃棄してください。

包装（ビニール袋、ポリスチレン、ストラップ等）のものは、子どもの手の届くところに置いてはいけない。

## 8.任意付属品

オプションのアクセサリーまたは公道での使用に必要な部品等は、販売店から入手できます。

ご不明な点がございましたら、販売店にお問い合わせください。

## 9.保証条件

あなたの電動アシスト自転車は、イタリアで設計、組み立て、製造された高品質の製品です。このような理由から、Frantic Motorは特別な保証条件を提供しています。

## 9.a -保証依頼の前提条件

Frantic Motorは、電動アシスト自転車の製造上の欠陥や部品の故障について、以下の期間（ご購入日より有効）保証します。

- 1年間の保証がついています。
- フレームの欠陥や破損。
- 自転車の部品（ハンドル、ブレーキレバー、ホイール、ペダルなど）の故障や破損。
- 電気モーター
- ディスプレイ
- バッテリーパックの2年間保証（公称容量の60%）。
- 法定上の保証期間は1年間で、すべての自転車部品に適用されます（ただし、消耗部品は除きます-項「9.b」-項「01」参照）。
- 消耗品は対象外となります。
- 不具合のある部品は、保証期間中は無料で修理または交換されます。

保証期間内に行われる修理・交換は、当社の承認を得た上で、当社が指定した販売店が行うものとします。

保証サービスは、当社の承認を得た上で、正規販売店が行うものとします。

保証および各条件は、最初の購入日から保証期間を損なうことなく、自転車を購入した後の購入者に譲渡されることがあります。

保証期間を有効にするためには、新規購入者は購入証明書（購入日と自転車の識別データを示す請求書または領収書）を所持している必要があります。

保証期間はご購入日、遅くとも工場出荷後6ヶ月からとなります。

自転車の通常の使用と消耗（タイヤ、インナーチューブ、チェーン、ブレーキディスクなど）に起因する部品の故障は保証の対象外となります。

自転車の所有者は、自転車を慎重にメンテナンスして使用し、推奨されるすべてのメンテナンス作業を確実に実施する責任があります。

## 9b-保証条件の例外

以下の使用については保証の対象外とします。
- レースやスポーツ競技での使用
- 営利目的(例:レンタル)。

自転車が誤った使用方法で使用された場合、または設計された目的以外の方法で使用された場合は、保証は無効となります(「1.a.項」の「使用およびメンテナンスマニュアル」の表「A」を参照してください)。
- メンテナンスが不足していたり、間違ったメンテナンスをした場合
- 認定業者が行っていない修理。
- 磨耗または損傷した部品の修理の不備、またはそれらの不正確な修理。
- 過度の使用や誤った使用による故障や破損。
- 電気部品の改ざん。

保証は、修理または交換にオリジナルのスペアパーツを使用した場合にのみ有効となります。

磨耗や損傷を受ける部品、およびベンダーが実施した操作は、保証の対象から除外されます。
- 当社は、保証期間内に、破損した部品とは異なる品質・技術仕様を有する部品を、保証期間内に供給・設置することができるものとします。
- 保証条件に基づいて提供されるサービスの使用は、事前に設定された償却日を超えての延長を意味するものではありません(「9.a」項-「01」項参照)。

## 1次検査

***この検査は、購入日から最大100～300kmまたは3ヶ月後に実施しなければなりません。***

日付.....

☐ 全てのメンテナンスを実施しました(使用・メンテナンスマニュアルのメンテナンス計画を参照)。

交換・修理の実施

交換・修理したもの

販売店のスタンプとサイン

## 2次検査

**この検査は、最大2,000kmまたは1年後に実施する必要があります。**

日付.....

☐ 全てのメンテナンスを実施しました(使用・メンテナンスマニュアルのメンテナンス計画を参照)。

交換・修理の実施

交換・修理したもの

販売店のスタンプとサイン

## 3次検査

**この点検は、最大4,000kmまたは1年後に実施しなければなりません。.**

日付.....

☐ 全てのメンテナンスを実施しました(使用・メンテナンスマニュアルのメンテナンス計画を参照)。

交換・修理の実施

交換・修理したもの

販売店のスタンプとサイン

## 4次検査

**この点検は、最長6,000kmまたは3年後に実施しなければなりません。**

日付.....

☐ 全てのメンテナンスを実施しました(使用・メンテナンスマニュアルのメンテナンス計画を参照)。

交換・修理の実施

交換・修理したもの

販売店のスタンプとサイン

## 5次検査

**この点検は、最大8,000kmまたは4年後に実施しなければなりません。**

日付.....

☐ 全てのメンテナンスを実施しました(使用・メンテナンスマニュアルのメンテナンス計画を参照)。

交換・修理の実施

交換・修理したもの

販売店のスタンプとサイン

## 6次検査

**この点検は、最長で1万kmまたは5年後に実施しなければなりません。**

日付.....

☐ 全てのメンテナンスを実施しました(使用・メンテナンスマニュアルのメンテナンス計画を参照)。

交換・修理の実施

交換・修理したもの

販売店のスタンプとサイン

この自転車は、最終的な組み立てや調整を行った後に届けられたものではないため、使用する準備ができていません。

納品前には以下の点を確認する必要があります。

検査日:_____年_____月_____日　　車体番号: _____

- ☐ ライトのON／OFF（装着されている場合）
- ☐ 塗装確認（フレーム等）
- ☐ 前後ブレーキ作動確認
- ☐ 傷確認（フレームおよび各パーツ）
- ☐ フロントサスペンションフォーク（装着されている場合）（車両の物理的特性に応じて調整されています）
- ☐ ホイール（同心度、スポークの張り、タイヤの空気圧）
- ☐ サドルとサドルサポートチューブ（高さと角度は乗り手の体型に応じて調整）、チェックされたネジと締め付けトルク、サドルサポートサスペンション：体型に応じて調整）
- ☐ ギアチェンジユニット（エンドストローク）
- ☐ ネジの締め付けトルクのチェック
- ☐ ハンドルバーとシャフト（位置、ネジの確認、締め付けトルク）
- ☐ フレームのヒンジとジョイントを揃える（折りたたみ自転車の場合）
- ☐ ペダルの取り付け
- ☐ バッテリーパックの充電状態
- ☐ リフレクターの取り付け
- ☐ 試乗の実施
- ☐ ユーザーマニュアル（取扱説明書）
- ☐ 安全のための手引き（本冊子）

**追加の指示**

- ☐ ブレーキレバー角度
- ☐ リアサスペンションフォーク（装着されている場合）
- ☐ 他のチェック

_____
_____
_____
_____

自転車の納車を受ける前に、自転車の特徴に慣れるためにも試乗をお勧めします。

> > > >

## 1.販売店情報

名前:

住所:（〒　　ー　　）

TEL:　　Fax:

E-mail:

日付

販売店のスタンプとサイン

署名

## 2.顧客情報

名前: _____

住所:（〒　　－　　）_____

_____

TEL: _____ Fax: _____

E-mail: _____

日付

_____

署名

_____

*この文書に署名することにより、お客様は、自転車と関連書類を完璧な状態で受け取り、業者が自転車とその上に取り付けられた付属品の正しい使用に関する必要なすべての情報と説明をお客様に提供したことを宣言するものとします。*

**モータリスト合同会社.**

東京都大田区仲六郷2 - 41 - 8

Tel. 03 3731 2388

Fax. 03 3731 2389

info@motorists.jp

Code: B0900032005